八戸市市民活動サポートセンター
「ふれあいセンター＜わいぐ＞」
情報誌
2022.6 月号 No.77

WAIGU

～もくじ～

●開設 20 周年記念祝辞……1
●開設 20 周年記念・お祝いメッセージ…2~3
●ごあいさつ ……3
●わいぐ情報クリップ ……3
●スタッフおすすめ わいぐライブラリィ……3
●助成金情報…… 4
●編集後記…… 4

祝
開設20周年記念

市民活動サポートセンター開設 20 周年記念に寄せて

社会福祉法人八戸市社会福祉協議会
会長　**田口 豊實**さん

市民活動サポートセンターが開設され、20 周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

当協議会では、2002 年 6 月に八戸市から市民活動サポートセンターを受託し、2006 年からは指定管理者として 2019 年度までの 17 年余運営に携わらせていただきました。その間、多くの市民活動団体の皆様と出会い、運営を支えていただきましたことを、この場をお借りして御礼申し上げます。

ご承知のとおり、1995 年の阪神淡路大震災では、震災直後の 1 年間で 138 万人のボランティアが活動し、被災者を支援するボランティア団体が多く生まれ、「ボランティア元年」と呼ばれています。震災後、様々な分野で非営利団体による社会貢献活動が活発になり、1998 年に NPO 法が誕生するきっかけとなりました。そのような時代の流れの中で誕生した「ふれあいセンターわいぐ」は、八戸市の市民活動の拠点として定着し、まちづくりの原動力となってきました。

現在、指定管理者として市民活動団体である、企画集団 With you 様が管理運営されており、市民活動団体の主体性を活かした運営形態となったことは、まさに、市民と行政との協働の望ましい姿だと考えております。

当協議会では、市民活動サポートセンターと連携しながら、引き続きボランティア活動の普及啓発と、大規模災害時のボランティア支援体制の充実に取り組んで参ります。

今後とも、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げるとともに、貴施設の益々のご発展を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

わいぐと市民活動の 20 年を祝して

認定特定非営利活動法人あおもりＮＰＯサポートセンター
理事長　**斉藤 雅美**さん

平成 14 年にオープンした「八戸市市民活動サポートセンター（ふれあいセンターわいぐ）」が開設 20 周年を迎えられたとのこと、心よりお祝い申し上げます。

八戸市では「市民と行政の協働によるまちづくり」を官民連携で実践されており、『わいぐ』はその重要な核として、また八戸圏域の市民活動を支える拠点として、様々な成果を生み出してこられました。登録団体の一つである当法人としても、設置の八戸市様、長く管理者であった八戸市社会福祉協議会様、そして現在の管理者である企画集団 With you 様に深く御礼を申し上げたい気持ちです。

この 20 年を振り返ると、団塊世代の退職後の地域参加、コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの進展や少子高齢化の進行、何よりも被災地となった東日本大震災からの復旧・復興など、市民活動を取り巻く状況は大きく変化してきました。しかしながら、社会における市民活動の重要性は、より一層高まっていると実感いたします。

本年 5 月現在、全国で認証されたＮＰＯ法人は約 50,700、青森県内は 405、八戸市内は 57 と公表されています。市民活動には、様々な組織形態があり、法人の数は目安に過ぎませんが、民間の中間支援組織として、NPO・市民活動を支援する当法人としても、『わいぐ』や登録団体の皆様と協力して、八戸圏域で市民活動が更に活発化するよう努めて参ります。

今後も地域の元気を支えつづけていただくとともに、『わいぐ』のさらなるご発展とご活躍を心からお祈りしています。

八戸海洋少年団

代表　浮木　隆

「わいぐ」開設 20 周年おめでとうございます。

平成 14 年、八戸市が進める協働のまちづくりの基幹的施設と設置されたことを思い出しています。

市民活動団体が活動していく中で、会議を開催する場所がない、印刷したくてもコンビニのコピーしかない等、たくさんの課題がありました。しかし､「わいぐ」が設置されたことにより、これらを解決でき、各団体は大変喜び、活動へ弾みがついたことを思い出しています。

お陰様で、八戸海洋少年団では、会議の会場・印刷等作業の場所・資料の保管のためのロッカーの借用など、たくさんの恩恵を受けることができています。

今後とも、市民活動を支援していく施設として、団体から期待される場所であってほしいと思います。

「わいぐ」の益々の発展を祈念しています。

八戸婦人ボランティア「いちいの会」

会長　宮古　雅

わいぐ開設 20 周年おめでとうございます

「いちいの会」は八戸市主催の家庭看護教室の修了生が、もっと技術を覚えたい、そしてボランティアに生かしたいとの思いから誕生し、今年で 37 年目に入りました。

活動内容は

①市内 4 施設でのシーツ交換や見守り
②介護予防教室のお手伝い
③施設の夏祭りやイベントの手伝い
④施設の外出時の車椅子介助や見守り
⑤小、中学校の高齢者疑似体験でのサポート
⑥市主催健康まつりやパネル展への参加　　等

現在はコロナ禍の為自粛中ですが、一日でも早く笑顔で活動ができる事を願っています。

最後に活動の拠点となる‘わいぐ‘の益々の活躍を期待致します。

はちのへ男女共同参画推進ネットワーク

代表　前田　洋子

「八戸市市民活動サポートセンター・ふれあいセンターわいぐ」開設 20 周年おめでとうございます。

市民活動をする団体が活動の拠点として気軽に利用できるとても大事な場所です。当団体は、2000 年 3 月に結成され、活動を続けて参りました。ロッカーやメールボックスを利用し、打ち合わせ会議等にも利用させてもらい、ありがたいです。結成 2 年後の 2002 年から 2008 年には、はちのへ男女共同参画フォーラムを開催しました。副題、「あなたも生き生き！わたしも生き生き！」「女も男も生き生きと暮らせるまちを共に築こう」が今でも目標です。20 周年記念研修会は「女性議員と語ろう」ということで、八戸市議員 4 名に日頃の活動内容や抱負、これからの助成活動について話を聞き、意見交換をしました。

開設 20 周年記念・お祝いメッセージ

あおもり県民カレッジ三八学友会

会長　村上　惠拓

八戸市市民活動サポートセンターふれあいセンターわいぐ開設 20 周年、誠におめでとうございます。

市民活動の拠点として、多くの市民に親しまれ、地域の社会参加活動に貢献してこられたことに対し、心から敬意を表します。

三八学友会は、日頃からポスターの掲示、資料印刷、パソコンスキルアップ等、大変お世話になっており、感謝しております。

わいぐは、今後、多様化する社会情勢の中、ますます必要かつ重要な存在になると思います。さらなる充実発展とスタッフの皆さまのご健勝を心から祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。

~ごあいさつ~

企画集団　With you (指定管理者)

代表　赤坂　美千子

この度、八戸市市民活動サポートセンター「ふれあいセンターわいぐ」は、開設 20 周年を迎えました。この 20 年の歩みは、市民活動団体やボランティア団体の皆様のご理解とご協力のお陰と深く感謝しております。

さて、「ふれあいセンターわいぐ」は、自主的・公益的な活動をしている個人や団体を支援し、多様な社会活動に参加することができる活動拠点として、平成 14 年 6 月にオープンいたしました。

また平成 29 年度より、八戸圏域 (八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町) の市民活動を支援することも目的としております。

私たちは 2020 年 4 月より指定管理者となりましたが、まだまだ未熟です。幅広い分野で活躍をされている皆様のサポートをする責任の重さを自覚しております。今後とも、皆様からのさらなるご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、挨拶といたします。

わいぐ情報クリップ

詳しくは、わいぐまでお問合せください。

●開設 20 周年記念わいぐ交流会

日時　令和 4 年 9 月 10 日 (土)
　　午前 10 時～午後 3 時まで
場所　八戸ポータルミュージアムはっち
　　はっちひろば

★パソコンスキルアップ相談

日時　毎月第 2 火曜日
　　午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

★活動の悩みなんでも相談

日時　毎月第 3 火曜日
　　午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

※パソコンスキルアップ相談や活動の悩みなんでも相談は開催日以外でも対応いたしますので、お気軽にスタッフにお声をかけてください。

スタッフおすすめ　わいぐライブラリィ

わいぐでは、住民活動に役立つ書籍や冊子を閲覧できます。
また、わいぐ登録団体の会員は借りることもできます。

『秒で伝わるパワポ術　仕事でも SNS でも < いいね > がもらえるスライド作成のコツ』

著者　豊間根　青地
2021 年 9 月 29 日　発行
発行　株式会社 KADOKAWA

市民活動のプレゼンや、SNS で「いいね」がもらえるスライドには作成のコツがあります。本書は【昔話】を題材にしたパワーポイントのスライドを楽しく眺めているうちに、シンプルでわかりやすいスライドを作るコツが身につきますよ。

今すぐ使える かんたん Zoom

著者　マイカ
2021 年 1 月 12 日　発行
発行　株式会社エムディエヌコーポレーション

オンライン会議が増える昨今、ZOOMを利用することも多くなったのではありませんか？画面共有、ホワイトボード、バーチャル背景等、基礎から学べます。利用者も主催者もこの 1 冊があれば大丈夫！いま、一番分かりやすいズームの教科書です。

助成金情報

●「第６回 日本女性学習財団 未来大賞」レポート募集

「出発・再出発」をテーマに、男女共同参画社会、多様な人々が生きやすい社会の実現に向けて、次への一歩を踏みだしたい／踏みだした人（踏みだす人を支援する人・グループも可）の思いやその過程などをまとめたレポートを募集します。
◇レポートの内容は、学校、家庭、仕事、地域活動、女性運動、NPO および NGO 活動、社会教育・生涯学習活動、震災経験や復興に向けた営みなど、幅広い領域を対象とします。

賞　　：大賞　1 篇　（奨励金　10 万円）
締　　切：2022 年 8 月 31 日（水）当日消印有効
結果通知：2022 年 12 月下旬までに応募者全員に通知します。
贈 呈 式 ：2023 年 3 月 4 日（土）13:30 ～ 15:00

※必ず主催者ホームページ
https://www.jawe2011.jp/nii_awards/index2022.html
でレポート募集要項をご確認ください。

【提出方法】
E-mail 添付ファイル または 郵送（簡易書留）

【主催者・提出先】
（公財）日本女性学習財団　第 6 回未来大賞係
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 5 階
E-mail：jawe@nifty.com

●八戸市まちづくりインターン助成金制度

◆助成金制度の目的
市民活動団体や地域コミュニティ活動団体が八戸圏域内市町村で行う、公益性のあるまちづくり活動への学生・高校生のボランティア参加を支援することにより、学生や高校生の社会参加を促進するとともに、地域における若い力の浸透を図ることを目的としています。

◆申請期間
令和 4 年 4 月 18 日（月曜日）～令和 5 年 1 月 31 日（火曜日）

◆対象団体
市民活動団体（ボランティア団体・NPO 法人等）や、地域コミュニティ活動団体（町内会・子ども会・PTA 等）で、次の要件をすべて満たす団体が対象となります。
・八戸圏域内（八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町）に拠点があること
・団体の構成員が 5 人以上であること
・団体の意思を決定し、執行する組織が確立されていること
・法人の場合、法人市民税・固定資産税・軽自動車税を滞納していないこと
・公共の利益に反する行為を行わない団体であること
・今年度、当助成金の交付を受けていないこと

◆対象事業
令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 1 月 31 日までに八戸圏域内で行われる公益性のあるまちづくり活動のうち、大学、短大、高専、専門学校、専修学校等の学生、または高校生がボランティアスタッフとして参加するもの。
(注意 1) すでに完了した事業も助成対象です。
(注意 2) 中学生は対象になりません。

◆対象経費・助成金額
活動に参加した学生・高校生に支払う交通費又は謝礼に要する経費
学生又は高校生が参加する活動 1 回につき 1 人あたり 1,000 円以内、1 事業 合計 20,000 円を上限に助成

◆お問い合わせ先
八戸市総合政策部 市民連携推進課 地域連携グループ
〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目 1 番 1 号 市庁本館 4 階
電話：0178-43-9182 ファックス：0178-47-1485
E-mail : renkei@city.hachinohe.aomori.jp

※その他の助成金情報は「わいぐ HP」でもご覧いただけます。

編集後記

最近、カタカナ語をよく目にする。ロックダウン、クラスター、テレワーク、ゼロコロナ。そんな中で「わいぐ」というひらがながひときわ輝いて見える。「わいぐ」が今年、開設 20 年を迎えるからである。
市民が積極的に社会問題に取り組むきっかけになるようにとの願いを込めて開設した「わいぐ」が二十歳を迎える。
改めて、市民活動が地域社会に浸透し、持続可能な活動として続いていくように微力ながら力添え出来ればと思っております。(松原)

～編集発行～
八戸市市民活動サポートセンター
「ふれあいセンター わいぐ」

●編集●
公募編集委員＝松原新一
黒澤美智子
わいぐスタッフ

〒039－1166
青森県八戸市根城八丁目８－155
八戸市総合福祉会館
（はちふくプラザ　ねじょう）３階
TEL　0178－73－3311
FAX　0178－73－3312
Email support@waigu.info
HP　https://www.waigu.info/

facebook
（八戸市市民活動サポートセンターわいぐ）で検索
⇧こちらもご覧ください

わいぐ HP
⇦わいぐの HP はこちらからも見ることができます。

～「わいぐ」という名前について～
青森県南部地方の「私、行く（わぁいぐ）」という方言が元になっています。「市民が積極的に社会の問題に取り組むきっかけの場所になるように」という願いが込められています。